



① 西秋書店

昭和51年(1976)に開業した「西秋書店」は日本語、日本文学研究書の専門店として知られる。万葉集から村上春樹まで、幅広い時代の文学評論書を扱い、来店する客層も図書館関係者、院生、講師、研究者などさまざま。また方言を含む日本語に焦点をあてた本を多くそろえるのも、他店にはない当店の特徴の1つ。国文学を読み解くのに、そこに使用されている言葉をよく知ることが欠かせないからだ。最近では児童文学の研究書も増やしており、顧客から確固とした信頼を得ている。

03-3262-2765
千代田区西神田2-3-3



② 日本書房

「日本書房」は昭和23年(1948)、学校や図書館に国文学の古書籍を納める専門店としてオープン。『万葉集』『源氏物語』などの古典、松尾芭蕉をはじめとする俳句、国語文法・辞書、方言辞典・解説書など、研究書や辞典がジャンル別、テーマ別に天井まで整然と並ぶ。研究書は芭蕉だけで約300冊、王朝文学は約500冊。国語辞典『言海』は大型本からポケットサイズまですべての版がそろそろ。目録販売は年2回、各回約1万2000タイトル。近年は和本などの古典籍にも力を入れる一方で、国文学の雑誌や研究書は新刊本も扱う。

03-3261-2744
千代田区西神田2-8-12



③ アカシヤ書店

囲碁と将棋書の専門店。店内には、定石(定跡)など囲碁将棋の戦術に関するものから、歴史を記したものまでがずらりと並ぶ。戦術本は著者別に陳列され、中でも、羽生善治、谷川浩司などトップ棋士の書物は、書棚2段以上にもわたって置かれている。勝負の世界に一息ついたかったら、詰め将棋の本を。レジ奥の棚に並ぶ江戸時代の稀覯本の中には、初代名人・大橋宗桂が将軍に献上するために作った問題集や、早世しなければ名人になっていたとされる伊藤寿寿の問題集もある。また、店の奥には仙術など精神世界関連、易、オカルトなどの本も。

03-3219-4755
千代田区神田神保町1-8 野口第一ビル



④ 矢口書店

大正7年(1918)創業、昭和3年築の木造3階建て店舗は、古書店街・神田神保町の風景を堂々と特徴づける。「映画・演劇・シナリオ・戯曲」と書いた看板を掲げ、その専門分野で無類の商品量と品そろえを誇る古書の老舗、「矢口書店」だ。「新しいものが氾濫するこの時代、昔の写真が見たいと、古いものを遡って欲しがる人が多い」と店主。映画・演劇関係者も数多く訪れる。『月刊シナリオ』『キネマ旬報』など雑誌の既売号も充実。映画ポスター、パンフレットも扱う。寄席演芸専門情報誌『東京かわら版』も販売。

03-3261-5708
千代田区神田神保町2-5-1



⑤ 鳥海書房

動植物に関する古書を扱う「鳥海書房」の書棚は、古生物、昆虫、釣り、野草など分類は40種以上。「海」の棚を見ていると「釣り」に誘われ、「鳥」を見ているうちに「昆虫」「植物」と次々に好奇心の深みにはまる。和本から最新刊まで、学術書も趣味本もそろえる。「多色刷木版の花や、1枚ずつ手で彩色された19世紀の銅版画の花や動物など、費やされた膨大な手間を想像すると、美しさと同時に情熱を感じて、時を忘れて見入ってしまう。うちに通い詰めた海藻好きの小学生が自然科学の研究者になったときは本当にうれしかった」(店主)

03-3264-4450
千代田区神田神保町2-3 神田古書センター3F



⑥ 大雲堂書店

古書全般を扱い、各ジャンルの良書を手ししやすい価格で販売している。武道書、漢詩や漢文、東洋医学などの専門書や学術書から、文学全集や宗教に関する本、囲碁や将棋など趣味の本など品揃えは多種多様。入口付近には様々な言語の辞典・事典類などが並び、英語・独語・仏語はもちろんルーマニア語や、『医学英語文例辞典』(朝倉書店、昭和58年)や『新約聖書ギリシア語辞典』(キリスト教新聞社、昭和53年)など専門的な辞典も揃う。老舗だが、間口が広く入りやすい雰囲気、地下鉄・神保町駅からも近く、古書店めぐりの起点ともなる。

03-3294-0616
千代田区神田神保町1-9



⑦ 澤口書店 東京古書店

音楽、美術、写真、映画、建築など芸術書を中心に取り揃える「澤口書店 東京古書店」。店内にはマッチラベルやポスターなどの紙ものも充実しており、見ていだけでも楽しい空間が広がっている。芸術書の他にも、世界史や洋書、クラシックやジャズのCD、DVDなど、取り扱い幅広い。2階には「くつろぎの空間」と呼ばれる喫茶スペースがあり、ドリンク片手に本に囲まれた空間でゆっくりと過ごすことができるので、休憩がてら立ち寄ってみては。

03-5577-6982
千代田区神田神保町1-7 源興ビル1・2F



⑧ 呂古書房

平成5年開店の「呂古書房」は神保町で初めて女性店主が独立開業した豆本専門店。サイズは文庫本の半分以下で、当店には印刷博物館で作られた0.95角の本まである。装丁の美しいものから印刷技術を競うマイクロ印刷本まで種類はさまざま。「豆本は小さいからこそできる贅沢さがある。装丁に古布や和紙などの素材を生かし、文字も印刷し、製本も丁寧。お金と手間をかけた豆本は本としても一級品」(店主)。豆本のほか児童書、版画挿絵本、蔵書票など愛らしく美しいもので溢れる。特に店主が敬愛する武井武雄に関して扱いが広い。

03-3292-6500
千代田区神田神保町1-1 倉田ビル4F



⑨ けやき書店

昭和62年(1987)開業の「けやき書店」は、「文学好きにはたまらない品そろえ」で一目おかれる。芥川・直木賞作家、明治・現代の初版本や限定本、直筆書簡類、初出雑誌を扱う近代文学の専門店だ。特に太宰治、坂口安吾ら無類派の初版本が充実。現在、活躍中の作家はサインの有無がポイント。同店によると村上春樹、京極夏彦、宮部みゆき、高村薫の署名本は特に人気が高く、さらに別格が金原ひとみ、綿矢りさ。目録は年4回発行。「本の発送先は自宅宛て、目録は一刻も早く見たいから会社に送って、という人もいますよ」(店主)

03-3291-1479
千代田区神田神保町1-9 ハヤオビル6F



⑩ 農業書センター

日本で唯一の農業所専門の書店、「農業書センター」。平成26年(2014)に大手町ビルから移転し、現在の場所へ。農業に関する書籍を約36000冊販売しており、一般書店では入手することの難しい専門書も扱っている。技術書、専門雑誌から料理本や園芸の本まで、店頭に並ぶ本は多岐に渡る。専門家でなくとも十分楽しめる店である一方、マニアックな本も多く、訪れる度に新たな発見がある。スタッフの方に声をかければ、本選びの相談にも快く応じてくれる。店へ続く階段はギャラリーになっていて、そちらもおすすめ。

03-6261-4760
千代田区神田神保町2-15-2 第1富士ビル3階



⑪ 北沢書店

靖国通りにそびえるヨーロッパ風建築の重厚な店構えが目を引く。1階の「こどもの本専門店ブックハウスカフェ」から螺旋階段を上がると、2階が「北沢書店」だ。明治35年(1902)の創業時は、大学図書館や研究室への納本が中心だったが、昭和30年に洋書専門店となる。英米文学を中心に、人文科学系の洋古書を販売。常時12,000冊の在庫を店内に並べる。ペーパーバックから、レアな稀覯書(きこうしょ)まで幅広く扱う。

03-3263-0011
千代田区神田神保町2-5 北沢ビル2F



⑫ カスミ書房

この店では「漫画とアイドル写真以外」の、60年代以降から80年代後半までのタレント・テレビドラマ・SF・特撮・写真集などの書籍を扱う。雑誌よりも単行本の方が多いのも特徴だ。本は一冊一冊丁寧にビニールでくるまれ、大切に扱われている。文庫、雑誌、ノベライズ、ハードカバーなどの種類別に書棚に並べてあるため、整然としていて探しやすい。都内のデパートで行われる古書展の時だけ販売する映画の台本、シナリオはマニア垂涎のものだ。こうした、普段はなかなか手に入らない希少価値の高い品は、古書市でめぐり合えるかもしれない。

03-5280-9663
千代田区神田神保町1-34 高瀬ビル302



選んだスポット



つながるスポット

Copyright(c) NPO 法人連想出版

